

年 組 名前:

問1

山梨市教委が漫画の製作をしている、山梨市出身の実業家「根津嘉一郎」は、何王と呼ばれていましたか。

.....

問2

次の文章のAからGに当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『漫画の検討委員会には、A4人や、漫画を執筆する中央市の漫画家BさんらC人が出席した。Dやせりふが大まかに描かれた「E」を見ながら、Fの正確さや根津さんの人間性を表すGなどについて話しあった』

A.....

B.....

C.....

D.....

E.....

根津嘉一郎の生涯 漫画に

山梨市教委 中学生の意見反映



根津嘉一郎の漫画について話し合う検討委員会のメンバー
|| 山梨市役所

山梨市教委は、「鉄道王」と呼ばれた市出身の実業家根津嘉一郎（1860～1940年）の漫画を製作している。郷土ゆかりの偉人を知り、ふるさとへの愛情と理解を育む、B&G財団の事業を活用。製作活用検討委員会には市内の中学生も参加し、来年3月の完成を目指している。

漫画は根津の生涯や功績を法を考える検討委員会を7月100%程度のも月に立ち上げた。市教委や歴史学者のほか、漫画を活用する子どもたちの意見を取り入れようと、市内3中学の代表生徒5人もメンバーに加わっている。

8月17日に市役所で開かれた検討委員の第2回会合には、中学生4人や、漫画を執筆する中央市の漫画家田中正仁さんら12人が出席。キャラクターやせりふが大まかに描かれた「ネーム」を見ながら、史実の正確さや根津の人間性を表すエピソードなどについて話し合った。中学生からは「説明より会話が面白い」「根津の転機となったコマを大きくするなどメリハリがある」と分かりやすいなどの意見が出た。

山梨南中2年の北村陽花さんは「地域の偉人の漫画製作に関わってうれしい。根津さんの新たな魅力も感じられた」、同中2年の柳場藍衣さんは「根津さんの生きざまが深く知れる漫画になってほしい」と話していた。

財団によると、事業は2021年度から実施。23年度は全国40自治体が選定され、県内からは山梨市のほか、甲州市、南アルプス市が選ばれた。甲州市は実業家雨宮敬次郎（1846～1911年）、南アルプス市は東京タワーなどを設計した内藤多仲（1886～1970年）の漫画を予定している。

〈穴山菜津美〉

(2023年8月23日付 山梨日日新聞 18面)

問3

根津嘉一郎さん以外で、漫画化を予定している人物の名前と、どのような人が答えてください。

名前

どのような人

.....

.....

.....

.....